

講義名称	社会福祉史
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門基本
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施あり
開講時期	4年後期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	子ども福祉学科（2）、社会福祉学科（2）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	23200061
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	13204061

担当教員

氏名	所属
◎ 堂田 俊樹	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業概要	日本を中心にアジア、欧米の社会福祉史について、人々の生活・文化・政治・制度・政策・実践・思想の変容を中心に総合的に解説する。また、日本が歩んだ歴史的な観点から現在の社会福祉を取り巻く諸問題を理解し、社会福祉の意味についても考察する。授業は主にプロジェクターを利用し、スライドを使って進めていく。当時の日本の状況について事前学習からの発表やディスカッションをなども行なっていく。
到達目標	①日本における社会福祉の歴史について時代背景や要因を踏まえて説明することができる。②主要な制度・施設・人物などについて基礎知識を身につけることができる。③歴史的な視点から社会福祉の諸課題について理解し考察することができる。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】	第1回は日本における社会福祉史の概要と成績評価について説明を行います。
	【事前事後学修の内容】	事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。
第2回	【事前事後学修時間（分）】	240分
	【授業計画】	第2回は海外の社会福祉史と日本に与えた影響について講義します。
第3回	【事前事後学修の内容】	事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。
	【事前事後学修時間（分）】	240分
第4回	【授業計画】	第3回は古代社会と救済制度・慈善について講義します。
	【事前事後学修の内容】	事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。
第5回	【事前事後学修時間（分）】	240分
	【授業計画】	第4回は中世封建社会と慈善・救済について講義します。
第5回	【事前事後学修の内容】	事前に配布資料を一読し、近代以前の社会の相互扶助の関係性や社会の仕組みについて確認してください。事後は配布資料を再読してください。
	【事前事後学修時間（分）】	240分

第6回	【授業計画】	第6回は幕末から明治維新にかけての公的救済・慈善について講義します。	
	【事前事後学修の内容】	事前に配布資料を一読し、救済や慈善の理念とそれに基づく実践の関連性や論理を考えてきてください。事後に配布資料を再読してください。	【事前事後学修時間（分）】 240分
第7回	【授業計画】	第7回は近代国家形成期の公的救済、慈善事業、社会改良思想について講義します。	
	【事前事後学修の内容】	事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。	【事前事後学修時間（分）】 240分
第8回	【授業計画】	第8回は産業革命期の公的救済・慈善事業について講義します。	
	【事前事後学修の内容】	事前に配布資料を一読し、慈善事業に携わる人物について関心や理解を深めてください。事後は配布資料を再読してください。	【事前事後学修時間（分）】 240分
第9回	【授業計画】	第9回は日露戦後期の感化救済事業について講義します。	
	【事前事後学修の内容】	事前に配布資料を一読し、社会福祉行政の機能について確認してください。事後に配布資料を再読してください。	【事前事後学修時間（分）】 240分
第10回	【授業計画】	第10回は第一次世界大戦後の社会と社会事業について講義します。	
	【事前事後学修の内容】	事前に配布資料を一読し、日本の社会事業の特質について確認してください。事後に配布資料を再読してください。	【事前事後学修時間（分）】 240分
第11回	【授業計画】	第11回は昭和恐慌、準戦時体制への移行と社会事業との関わりについて講義します。	
	【事前事後学修の内容】	事前に配布資料を一読し、救護に関わる5つの法制度について対象を確認してください。事後に配布資料を再読してください。	【事前事後学修時間（分）】 240分
第12回	【授業計画】	第12回は日中戦争・太平洋戦争と戦時厚生事業について講義します。	
	【事前事後学修の内容】	事前に配布資料を一読し、戦時下で成立する法制度について確認してください。事後に配布資料を再読してください。	【事前事後学修時間（分）】 240分
第13回	【授業計画】	第13回は戦後改革と社会福祉について講義します。	
	【事前事後学修の内容】	事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。	【事前事後学修時間（分）】 240分
第14回	【授業計画】	第14回は高度成長期の社会福祉について講義します。	
	【事前事後学修の内容】	事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。	【事前事後学修時間（分）】 240分
第15回	【授業計画】	第15回はグローバル時代の社会福祉について講義します。	
	【事前事後学修の内容】	事前に配布資料を一読してください。事後、再読してください。	【事前事後学修時間（分）】 240分

履修に必要な予備知識や技能

社会福祉概論Ⅰ、地域福祉論、ソーシャルワーク論Ⅰで学んだ内容をしっかり理解しておいてください。そのうえで日本における現在の社会福祉の法制度や実践について関心をもっておいてください。

課題に対してのフィードバック	レポート、試験結果、授業内の問題の質問等については、授業後、受講者に個別に説明する。質問においても、個別に回答し、受講者全てにフィードバック必要な場合、次の講義で回答する
評価方法・基準	小テスト、受講態度、試験の結果等を総合的に評価します。 授業内小テスト15%、受講態度15%、定期試験70%
教科書	使用テキストなし 参考書：授業時に適宜、紹介します。
実務経験の内容・期間	社会福祉士（29年）、精神保健福祉士（10年）、介護支援専門員（26年）、市福祉行政担当課（12年）、介護サービス事業経営（16年）、ソーシャルワーカー歴（36年）、代表取締役・施設長・管理者（15年）